



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

シリア：シリア反体制派がジュネーブ国際会議参加を決定（報道まとめ）

1月18日、シリア国民連合は、シリア問題の政治的解決をめざすジュネーブ国際会議への参加を決定した。シリアの反体制派が、同会議への参加を決めたのは初めてである。18日の会合に会議参加反対者が参加せず、結果的に会議参加が決定されたとも報道されている。しかし、翌19日、国連の潘事務総長が、同会議にイランを含む10カ国を追加招待したことで、シリア国民連合は、態度を硬化させ会議参加を取り下げるかもしれないとした。イランのジュネーブ国際会議参加については、国連とロシアが支持しているが、米国はイランが第一回ジュネーブ会議のコミュニケを公式に認めると発表することを条件にしている。

シリア政府はすでに会議参加の意向を表明している。シリア政府と反体制派は、参加する条件について合意しておらず、実際に両者が会議に参加するかどうかは不透明である。しかし、少なくとも両者が同じ会議に参加する寸前まで来たのは、初めてである。

国連は、2013年11月25日に、シリア問題を協議するジュネーブ国際会議（2回目）を、2014年1月22日に行うと発表した。国連事務総長は、2014年1月6日に、30の国・機関に会議への招待状を発出していた。同会議は、1月22日にスイス西部レマン湖に面するモントルーで開催され、24日にジュネーブで継続される。22日は、ジュネーブでは大きな見本市が開催されるためホテルが満室杯状であるための措置。

（中島主席研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799